

# みなみ

R4 竜王南小学校便り

No. 2

2022.5.18 発行

甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標

「楽しい学校（楽校）の創造」

— やる気 こん気 げん気 —

## 笑顔あふれる 南小 ヒーロー目指せ！

をテーマに

### ～第1回児童総会～

校庭の木々は、日に日に勢いよく伸びていきます。芝生の緑も、日に日に色濃くなっていきます。そのような中、初夏の日ざしを受けながら駆け回る子供たちの姿からは、成長の勢いを感じます。

さて、5月17日（火）3年生以上の児童が参加して第1回児童総会が開かれました。まだ大勢

が体育館には集合できないので、昨年度から使い出したChrome Bookのオンラインで繋ぎながらの開催でした。本年度の竜王南小学校児童会の方向性を決める大切な会です。児童たちは、事前に提案内容について各学級で話し合っており、当日はそれぞれ疑問に思ったことや付け加えたいこと、賛成意見などを次々に発言していました。話し合いの結果、今年度児童会テーマは

『 笑顔あふれる 南小 ヒーロー目指せ！ 』

に決まりました。活動の3つの柱も提案されました。これらは学校教育目標でもある「やる気・こん気・元気」と「当たり前十か条」にも呼応させ

- ①いろいろなことに積極的に取り組むこと 「やる気レッド」
- ②ルールをしっかり守りみんなで努力してできるようになること 「こん気ブルー」
- ③全校がなかよく楽しい学校になること 「げん気イエロー」

この3つのキャッチフレーズの基、それぞれの活動について具体的に提案がありました。その中で特に②の「こん気ブルー」に関わ

る部分では無言清掃をより徹底するためには何をすればよいかと、③の「げん気イエロー」わくわくタイムについて全校が仲良くなる遊びはどんな遊びがよいかという本部からの投げかけがあり、その場で各クラスの話し合いをしました。スローガンやキャッチフレーズがただの呼びかけに終わらず、自分事として子供たちに返る時間となっていました。こういう中から日々の児童会活動への意識やその高まりが生まれてきます。また、委員会の活動内容についての提案もありました。各委員長さんたちからもしっかりとした答弁がなされました。



総会で話し合われた児童会活動の取組は、すべてが「楽しい学校（楽校）の創造」につながっていきます。子供たちが協力してよりよい竜王南小学校を創りあげていけるよう教職員一同で支援指導をしていきます。



## 【1年生を迎える会】

4月20日（水）の3校時に、さわやかな晴天のもと、校庭で、1年生を迎える会を実施しました。1年生は、入場の際一人ずつ自己紹介をしました。自分の名前と好きなものなど、それぞれが頑張って話すことができました。この時、発表の音が少し小さくても全校が静かに話を聞いてあげる様子に2～6年生の優しさを見た気がしました。また1年生を補助する6年生も優しい思いやりの気持ちでサポートしてくれていました。

児童会役員は、〇×クイズを取り入れたユーモアのある寸劇で、学校生活や学校のきまりを紹介してくれました。その後、1年生一人一人に、手作りのメダルがプレゼントされました。1年生は、会を楽しむとともに、児童会の仲間入りをすることができました。この会は児童会役員が運営した行事でした。まだまだ感染症対策で制約される中ではありますが、全校で楽しむことができ、とても素晴らしい会となりました。



## 【授業参観・家庭訪問】

コロナ禍でなかなか人が集まることができにくい中ですが、子供さんの学校での姿を見ていただきたく4月に授業参観を実施しました。保護者の皆様には地区ごとに参観を分け、しかも、短時間の参観にさせていただきました。多くの保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

また、4月25日～28日には家庭訪問をしました。コロナ禍で3年ぶり、しかも、短時間に玄関先での家庭訪問となりました。やはり、地域を知る上でも家庭訪問をすることは有意義です。近年、竜王南小学校近隣の交通事情は大きく変化しています。そのようなことも踏まえ、コロナ禍ではありますが、家庭訪問をさせていただきました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

これからも家庭と学校で連絡を取り合い、子供が少しでもよりよく成長できるように支え合って行ければと考えています。

## 【やはたいもの植え付け】

5月6日（金）に「胞子の会」の方々のご指導を受けながら、3年生が「やはたいも」の植え付けをし、どの子も頑張って植えていました。（当日の詳しい様子は学校HPをご覧ください。）

これに先立ち、胞子の会の皆様には、3月～4月にかけて、学校で子供たちが集めた落ち葉を畑へ運ぶ作業をしていただいたり、この植えつけに間に合うように畝作りをしていただいたりしました。また、学校の近所の阿部様には畑を耕していただきました。

子供たちの農園での体験はこのように多くの皆様のご協力のもとに成立しています。学校職員だけでは到底できません。

このようなご協力に心より感謝申し上げますと共に、この学びの機会を十分に活かしていくよう努力していきます。

